

No.	質問事項	回答	発生日／備考
1	ワースト側解析評価を行うためのケース選定の考え方を示して欲しい。	「宇宙物体の再突入溶融解析マニュアル」(CAA-109029E)に、安全側の解析を目指す場合の考え方を注記しています。 p.4 <参考> 自然落下による再突入経路予測の際の注意 p.10 3.3(3) 破片の材料物性データについての注意	2023 年 11 月
2	検証評価例をマニュアルに記載してほしい。	「ソフトウェア取扱説明書」(ORJ-06-0001)「5.5 サンプル実行」に仮想衛星を用いた解析事例を示しています。	2023 年 11 月
3	マヌーバ中の故障を考慮した制御落下の E_c 計算について知りたい。	「ソフトウェア取扱説明書」(ORJ-06-0001)「5.3.1.1 入力」及び「6.2.1 入力ファイルの作成」の「落下予測点上に落下」を選択頂くと、落下予測点ファイルの読み込み及び当該ファイルに基づいた E_c 計算を行えます。 なお、落下予測点ファイルのフォーマットは、「ソフトウェア取扱説明書」(ORJ-06-0001)「7.2.4 (2)落下予測点ファイル」に従って作成してください。	2023 年 11 月
4	ORSAT-Jv5 の動作にマイクロソフトの「.NET core」のインストールが必要とされているが、Ver.の指定はあるのか。利用概説によると Ver3.1 が推奨されるように読み取れるが、サポートが 2022 年末で切れている。	ORSAT-Jv5 の動作にはマイクロソフト「.NET core」Ver.3.1 をインストールして頂く必要があります。現在、後継バージョンでの実行は不可となっておりますが、Ver3.1 のサポートが 2022 年末で終了していることを鑑み、今後、早期に対処していく予定です。	2023 年 12 月
5	JAXA から提供されたライセンスを設定後、「ORSAT-Jv5.exe」をクリックしたところ、ライセンスが無効と表示され、先へ進まない。	① ライセンスファイル申請書に記載された MAC アドレスが現在ご利用中の PC のアドレスであることを再確認してください。ORSAT-J の MAC アドレスを識別してライセンス発行していますので、MAC アドレスが異なる PC では ORSAT-J はご利用いただけません。 ② ORSAT-J を利用される PC に対して「Microsoft Visual C++ Redistributable」の修復インストールを実施し、その後、再度、「ORSAT-Jv5.exe」を実行してください。 ③ 上記①及び②を実施しても事象が改善しない場合は ORSAT-J ヘルプデスクへお問い合わせください。	2023 年 11 月